

## 【9】

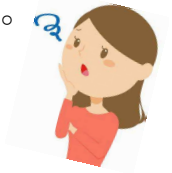
テーマ「人間関係」

タイトル 「子どもを守るためにできることは？」（被害者の立場を通して）  
～わが子がいじめられています・・・～

【学習資料】事例シート

### 「何とかしなきゃ」

ル：ある日、泥だらけのくつやズボン、いつもより遅く、うつむいて帰宅した小学3年生の息子Aの様子を見て、動悸がうって思わずたずねました。



母：「遅かったなあ、どうしたんそのくつやズボンの泥は？」

A：「なんでもないわ、田んぼで遊んどってこけただけ。」

母：「なんでもないことないが、今日だけでなく、近ごろよう服よごして帰ってくるが。」

A：「ほっといて、おかあさんには関係ないわ。」

母：「関係ないことないわ、いじわるされとるんじゃないか？何だか心配だが。」

ル：泥だらけのくつを玄関に脱ぎちらし、Aは二階の自室に駆け上がって行きました。夜遅く帰宅した夫に、夕食を準備しながら相談しました。

母：「おとうさん、少し前から気になってたんだけど、どうやらAがいじめられとるようだわ。近ごろ、帰りが遅いし、くつやズボンが汚れていることが多いし、おかしいと思ってたんだけど・・・。ほんとに心配だわ。」

父：「子どもの服が汚れているぐらいで心配すんな。子どもの勲章みたいなものだ。ふざけ合ってるだけじゃないんか？」

母：「だって元気もないし、目をそらして話もせんし、絶対いじめられとるんだわ。」

父：「Aはおとなしい子だけ、ようケンカもせんしなあ。おかあさんは誰にいじめられとるんか知っとるんか？Aに話を聞いたんか？」

母：「聞いたけど、Aは『おかあさんには関係ないわ。』って話してくれんに。」



ル：翌日の土曜日、夫は早朝から出かけてしまいましたが、遅く起きてきたBに昨日のことを問いただしてみました。

母：「昨日の夜、おとうさんにも話をしたけど、心配しとったで、何かあったんだったら話してみないな、おかあさんも心配で寝られんかったで。」

A：「おかあさんには関係ないって言ったが・・・。誰かに言ったらまた何かされるわ。」

母：「ほら、やっぱり何かされとるんじゃないの。可愛い我が子のことを心配せん親がどこにおる。ちゃんと話さないな。」

A：「しまった・・・おかあさん黙っといてな。昨日はな、学校から帰ってくる時、C君とD君とE君に背中をドンドンって押されて、田んぼに落とされたんだ。他の時も、キックボクシングの試合とかいってパンチやキックされたこともあるけど、3対1だし、かなわんが。」

母：「他にだれも見とらんかったんか？」

A：「BちゃんとFちゃんが見とって、『何してるの!』って言ってくれたけど、C君が『はあ？遊んでるだけだしー。』と言ってた。僕は何にも言わなかったけど。」

母：「先生は知ってるの？」

A：「わからん。だって、いつも先生がいない時だし。」

母：「先生に言ってみたら。」

A：「先生に言ったら、告げ口したとまた何かされるから、言うのいやだ。」



ル：その夜、Aが告白したことを夫に話した後、夫とAの部屋へ行き、寝顔を見ながら二人でつぶやきました。

母&父：「何とかしなきゃ」



## 【学習のポイント】

○いじめの初期段階への気づきや対応を、保護者として主体的に考え、いじめ抑止への行動につなげようとする意欲を高めるとともに、地域で話し合っ問題解決する「いじめ抑止のネットワーク」を構築していくには、どのような人間関係・信頼関係づくりをしていけばよいのかを考える。

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	15 (5)	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。  ①ファシリテーター自己紹介  ②研修の目的、本日の流れの説明  ③話合いのルールの確認  ④グループ内で簡単に自己紹介	■本研修会のねらいや進め方について説明します。  ■ルールの参加・尊重・守秘について説明します。	◆4人のグループ型の座席にしておく。  ◆ホワイトボードなどに話合いのルールを書いて（貼って）おく。
	(10)	2 アイスブレイクをする。「ペア・コミュニケーション」  ①ルールを確認する。  ②じゃんけんで話す役／聴く役の順番を決める。（役割は後で交代、お題は変える）  ③お題に沿って順番に、話す／聴く。（1分×2人＝2分）  お題1「最近、気になるニュース」 お題2「最近、うれしかったこと」	■「話す役」は1分間「お題1」について話します。  ■「聴く役」は相手の話をしっかり聴いてください。  ■時間はファシリテーターが計りますので、時間の途中で勝手に役割を交代しないでください。  ■後で交代してもらいますが、お題は変更します。	
展開1	30 (5)	3 「何とかしなきゃ」を使って話合いをする。  ①事例シート「何とかしなきゃ」をファシリテーターが読み上げる。		◆事例シートは事前に配布しておく。  ◆役割を決めて朗読劇をすることもできる。

	<p>(5) ②各自で、事例に登場するBの保護者のその後の行動を、保護者としてどう行動するべきか考える。思いつくいくつかの行動を、付箋に書きとめる。</p> <p>(20) ③グループで、各自で書いた付箋をまとめ、「いじめ抑止ネットワーク」イメージ図を作成する。 《イメージ図例》</p>		<p>■「何とかしなきゃ」と言っていたAの保護者はどんな行動をとるでしょうか？各自で考えましょう。 あなたが保護者として思いつくいくつかの行動を付箋に書きましょう。 一枚の付箋に一つの行動を書きましょう。</p> <p>■模造紙の中心にAの保護者と描き、周りに各自の行動を書いた付箋を貼りましょう。</p> <p>■グループで、各自の行動を同じ項目ごとにまとめましょう。</p> <p>■どうつながり、どう広がって行けばいじめが解決していくのか話し合しましょう。</p> <p>■話し合った内容を模造紙の空いている場所書き込みましょう。</p>	<p>◆グループ用に事前配布 ・模造紙1枚 ・付箋適宜 ・マジック1本</p> <p>◆参加者が②の作業中に、「いじめ抑止ネットワーク」イメージ図の概要を簡潔に描く。</p>
<p>展開2</p>	<p>15</p>	<p>4 ギャラリーウォークをする。</p> <p>他のグループの「いじめ抑止ネットワーク」イメージ図を見て情報収集をしながら、「なるほど」と思ったり「共感」したりする記述にシールを貼る。</p>	<p>■他のグループの話し合った内容でよいと思う意見にシールを貼りましょう。</p>	<p>◆各自3枚のシール</p>
<p>展開3</p>	<p>10</p>	<p>5 元のグループで、もう一度、ネットワークイメージについて話し合う。</p> <p>いじめの抑止につなげるにはどんなネットワークを構築する必要があるのか話し合う。</p>	<p>■どんな「いじめ抑止ネットワーク」であれば、いじめの抑止につながるのか話し合しましょう。</p>	<p>◆各グループの「いじめ抑止ネットワーク」イメージ図を完成させる。</p>

<p>まとめ</p>	<p>10 (7)</p>	<p>6 ファシリテーターがまとめる。</p>	<p>■いじめは、身近な人間関係の中で起こることが多く、誰もが、いじめに注意深い関心を持つことが大切です。</p> <p>皆さんのかけがえのない子どもたちが発する小さなサインを見逃さないことが「いじめをエスカレートさせない」抑止の行動の始まりとなるのです。</p> <p>■いじめを抑止するためには、家庭、学校、地域での良好な人間関係、信頼関係が必要です。</p> <p>■大人（保護者・教員）も子どもも、良好な人間関係や信頼関係を築いていくには、話し合っ問題て問題を解決するという姿勢を示し、問題に取り組んでいかなければなりません。</p> <p>そのためには、自分の考えを相手にわかりやすく伝えたり、相手の話をしっかり聴きよく理解することが重要です。</p> <p>■いじめは、個人同士の問題ではなく、集団、社会の問題です。個人と個人の問題として片付けるのではなく、クラスや学校、地域の問題として捉え、より良い人間関係のネットワークが地域に存在することが、いじめの抑止や解決に立ち向かう行動力となるのです。</p>	<p>◆「家庭での『いじめサイン』チェックシート」を配布する。（持ち帰ってチェック）</p>
	<p>(3)</p>	<p>8 ふりかえりシートに記入する。</p>	<p>■最後に、本日の学習を振り返っていただき、終わりしたいと思います。</p>	

【参考資料】



## 家庭での『いじめサイン』チェックシート

1	朝、布団からなかなか出ようとしなない。	
2	朝、腹痛や頭痛など身体の具合が悪いと訴える。	
3	トイレからなかなか出てこない。	
4	いつもと違って朝食を食べようとしなない。	
5	学校へ行きたがらなない。	
6	親の学校への出入りを嫌う。	
7	ひとりで登校したり、遠回りして帰ってきたりするようになる。	
8	イライラしたり、おどおどしたりして落ち着きがなくなる。	
9	人前で着替えをするのを嫌がる。	
10	勉強に集中できなくなり、成績が下がる。	
11	部屋に閉じこもることが多くなる。	
12	深い大きなため息をつくことが多い。	
13	親と視線を合わせようとしなない。	
14	言葉遣いが乱暴になる。	
15	学校の様子を聞いても言いたがらなない。	
16	友だちのことを聞かれると怒りっぽくなる。	
17	すぐに謝るようになる。	
18	無理に明るく振舞おうとする。	
19	友だちや学級の不平・不満を口にするようになる。	
20	外に出たがらなない。	
21	電話に敏感になる。	
22	友だちからの電話にていねいな口調で応答する。	
23	衣服が汚れて帰ることが多くなる。	
24	擦り傷などよくケガをして帰るようになる。	
25	寝付きが悪かったり、眠れなかったりする日が続く。	
26	学用品、所持品や教科書を紛失したり、落書きされたり、壊されたりする。	
27	お金の使い方が荒くなる。	
28	「転校したい。」とか「学校やめたい。」と言う。	
29	家庭から物品やお金を持ち出したりする。	
30	親しい友だちが家に来なくなり、見かけない子がよく訪ねてくるようになる。	

